

第1回 吉川中学校区地域部会 意見のまとめ

開催日：平成30年9月28日

会場：吉川町公民館

1 喫緊の課題「吉川地区の4小学校については、施設に許容力のある「みなぎ台小学校」に集約することが妥当である。」という方向性（案）について

- 1 学年2クラス以上の児童に対応した教室の数を確保できるのは、みなぎ台小学校だけなのか。
- 建物を見ると新しいので、すぐに移行するのであれば、みなぎ台小学校が良いのではないかと思う。
- 統合する際には、中吉川小学校を校舎として使うということもできるのではないかと考えている保護者もいる。
- まちづくり協議会のアンケートでは、統廃合を望む意見と小規模校を残すことを望む意見とに分かれている。現状のままという選択肢があるのかどうか知りたい。その前提により、保護者の意見は変わるかもしれない。
- 新築すると時間がかかるので、既存の校舎であれば、みなぎ台小学校を使うのがいいのではないかと考えている。
- 統廃合すると、今まで小規模校（少人数）の中で生活してきた子どもたちが、多くの人前では意見を言えなくなるのではないかと心配する保護者がいる。
- 何が正しいかは分からないが、個人的には、出会った人の数だけ子どもの可能性は増えるのかなと思うので、大人数の中でもまれるのは良いことであると思う。
- 大人数の中での教育を望んでいる人ばかりではない。今の進め方のように、そこまで急ぐ必要があるのか。

2 統廃合実施時の課題

- 統廃合に際して、スクールバスを走らせる予定はあるのか。その際に、バスの乗車運賃は有料になるのか、無料になるのかを心配する声を聞いている。
- バスに乗れなかった時、自家用車で送迎する保護者が増えると、住宅街であるみなぎ台小学校周辺は、登下校中の児童の交通安全が心配である。
- みなぎ台小学校は、校舎の構造上、オープンスペースが多いため、児童が増えた時には、落ち着いた学習環境を維持するため、教室の一部を改修などが必要である。
- 安全性から、バス通学に肯定的な保護者もいるが、バスの本数が少なければ、何か用事がある時の迎えや部活の送迎で大変な思いをすることもある。メリット、デメリットをしっかりと紹介してもらえれば、いろいろな判断がしやすい。

3 三木市の学校再編に係る全体案

- 学校の小規模化が進む中で、学年の児童数が2人や3人になってしまう前に、市全体で計画的に対応策を講じる責任がある。
- 市は、スケジュール案を示し、ゴールに向かって、意見を集約しているような感じがして、保護者は不安を感じている。加えて、具体的な再編案が示されているので、どんどん不安に感じていく印象がある。
- 子どもを育てている父親と母親のうち、片方は、吉川町出身の方ではない場合が大半

なので、小学校に対する思いは薄く、「統合したらいい」と感じている人が多い。反対に、吉川で生まれ育った方（父親か母親）やその両親は、残してほしいと感じており、家庭内でもギャップがある。

○学校で人と繋がるのではなく、インターネットなどで外の世界と繋がることで多様性や社会性を学ぶということもある。そのような形に変化していくことも、人数の少ない地域では、仕方がないかもしれない。

4 地域の願いや課題

○地域部会と並行して、地域ごとに説明会を開いて、意見を聞く必要がある。

○小学校に入学する段階で、児童数が少ないために吉川町内の小学校ではなく、他の地域の小学校に行きたい、というような意見があるのではないか。

○小学校が地域から無くなることをどう捉えているのか。地域における学校の存在意義を踏まえて、意見をもっと聞かせてほしい。

○東吉川小学校は、市内の3大避難所に定められていると聞いている。統廃合後、その小学校が無くなった時に、高齢の方や足の不自由な方は、どこに避難すればいいのかという声を聞いている。

5 学校の様子

○本校は小規模であり、全ての子どもに目が届きやすい。また、地域の方が、協力や支援を快くしてくれる。

○将来のことを考えると、もう少し人数が多い場で学ぶ機会も必要ではないかと思う。

○伝統のある学校なので、地域の方の意見も尊重する必要がある。

○多様なふれあい体験を全校授業などで行い、高学年が良い見本として活躍している。

○複式学級だが、複数の教員による指導や指導方法の工夫により、学力をつけている。

○中学校では、急激に生徒数が減り、今年の1年生は、1学級になった。小学校の児童数の推移を見ると、当分の間は1学級が続くようである。

○少人数ということ「弱み」と捉えるのではなく、学年を超えて、全教職員で子どもたちを指導できるという「強み」として教育活動を行っている。

○自分のしたい部活がないから、他の中学校へ行きたいと考える人もいる。学級数が減ると教職員も減るので、現状のままでは、部活動の統廃合を検討する必要がある。地域の社会体育団体との協力や移行を検討する時期に来ている。

6 その他

○説明がない中で、案がひとり歩きし、みなぎ台小学校に行かないといけないと思ってしまった。

○統廃合された場合、校舎校地の跡地利用を考えてほしい。そのまま放置は悲しい。

○校長先生の話では、少人数の中でも工夫をして、子ども中心に教育活動が行われていることがよく分かった。

○この地域部会でも多くの意見が出ているが、この場で学校再編の形を決めるというわけではない。色々な意見がある中で、何をもち、どのように三木市の学校再編の方針が決定されるのかが見えない。

○他の保護者と話をしている中で感じたことは、1つは寂しさ、1つは焦り、1つは仕方ないという気持ちだった。